

安全安心な処分場の埋立物・工法・構造 類型の現状と将来に向けた改善ポイントとは

- 環境汚染を生じない(生じにくい)構造で「安心」が認知・保障される時代ではない
- 埋立てられるもの・埋め立てられたものの管理を的確に行う

現状の類型化と問題点

●埋立物(産廃・一廃)と管理主体

- 公共関与・施設大型化
- 広域処分場
- 民間の独立性

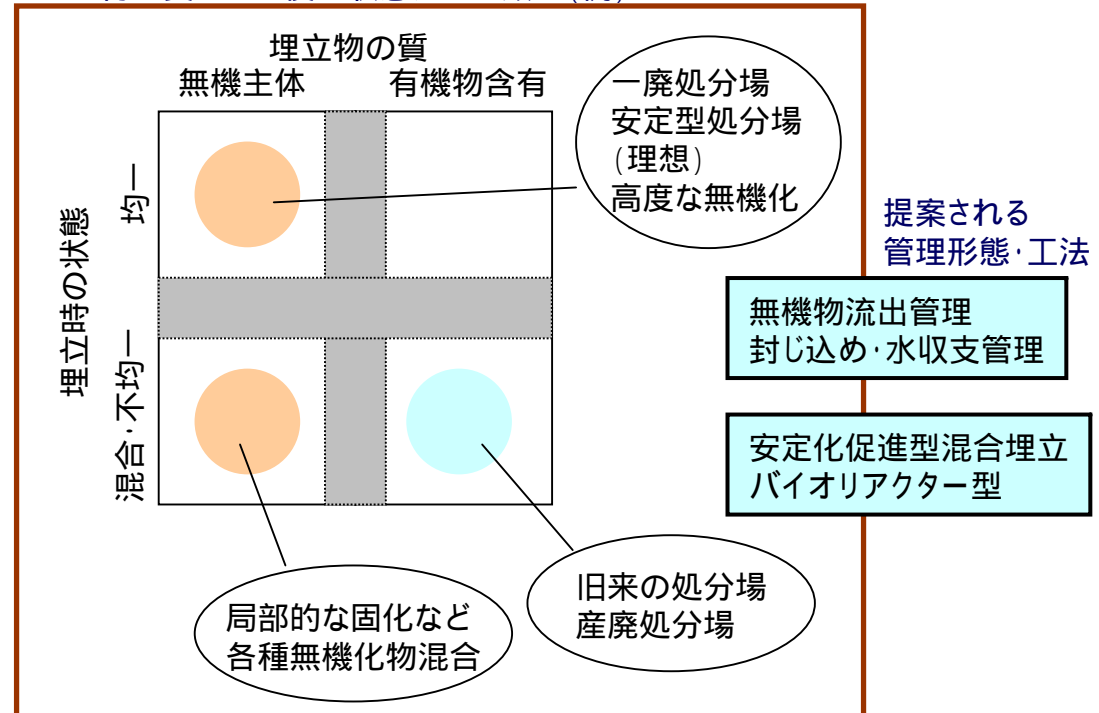
長期管理(跡地利用含む)を見据えた
 管理主体評価

●管理型・安定型・遮断型

- 不適正処分:品目・業種では限界
- どのような中間処理を経たか
- 搬入検査の改善

前処理に着目した埋立質の管理

埋立物の質と埋立後の状態からの類型(例)



長期間管理に向けたポイント

- 跡地利用形態
 - 類型と安定化状態に応じた適用
- 廃止基準・安定化モニタリング
 - 廃止するのか・半永久管理するのか

既存処分場改善のポイント

- 容量増加(処分場再生)
- 安定化促進
- 遮水工の適正化
 - 現状把握と目標